

## 2010 年度学会活動状況報告

### (1) 2010 (平成 22) 年度年次総会開催の件

学会第 17 期の締め括りと、第 18 期の活動方針審議のため、平成 22 年 6 月 5 日 (土)、国際文化会館 (東京・六本木) に於いて平成 22 年度年次総会を開催した。

総会出席会員数 47 名、委任状 124 名  
(議決人員 171 名/会員総数 468 名)

#### 総会議題

議題 1. 平成 21 年度学会活動状況報告の件 (案)

議題 2. 平成 21 年度学会決算報告の件 (案)

議題 3. 監査報告の件 (案)

議題 4. 平成 22 年度学会活動計画審議の件 (案)

議題 5. 平成 22 年度学会予算審議の件 (案)

上記が審議され、原案通り決定された。

また、議題審議終了後に、休憩を挟んで特別講演として「日本のビジネスエデュケーションを考えるー経営倫理の関連からー」についてクリスティーナ・アメージャン教授 (一橋大学大学院国際企業戦略研究科長) の講話があった。

### (2) 理事会開催の件

学会の業務運営に関する重要事項を審議決定する為、理事会を下記のごとく開催した。  
(平成 22 年)

第 120 回理事会 4 月 24 日 (土) 平成 22 年度年次総会開催準備の件

第 121 回理事会 7 月 17 日 (土) 平成 22 年度活動計画推進の件

第 122 回理事会 9 月 11 日 (土) 第 18 回研究発表大会の件

第 123 回理事会 12 月 18 日 (土) 第 3 回経営倫理シンポジウムの件

(平成 23 年)

第 124 回理事会 3 月 12 日 (土) 東北地方太平洋沖地震にて延期

### (3) 研究発表大会開催の件

第 18 回研究発表大会を平成 22 年 10 月 16 日 (土) 上智大学 (東京・四谷) において開催した。当日は統一論題『人権・雇用・経営倫理-21 世紀社会システムの展望-』について当学会より依頼した有識者 3 人による報告があった。また自由論題 23 本の研究発表を終日 4 会場に分けて行った。加えて当学会初の試みとしてワークショップ (文献検索と論文作法) を開催した。

### (4) 研究交流例会開催の件

学会員の研究情報の交流と学会活動の理解を深める交流例会を前年度に引き続き下記のごとく開催した。なお昨年度から引き続き研究交流例会からは 2 本立てとし、若手研究者等からの研究報告があった。

\* 第 70 回研究交流例会 (平成 22 年 7 月 17 日)

1. 「企業犯罪と特捜検察」 中央大学法科大学院教授 井内 顯 氏

2. 「韓国企業の企業不祥事と儒教思想」 富士常葉大学准教授 文 載皓 氏

\* 第 71 回研究交流例会 (平成 22 年 9 月 11 日)

1. 「米国経営倫理学会 2010 年度研究発表大会参加報告」

白鷗大学教授 高橋浩夫 氏、他

2. 「企業倫理の源流と現代における意義-江戸中期の石田梅岩の思想を中心として-」

東洋大学大学院 萩原道雄 氏

\* 第 72 回研究交流例会 (平成 22 年 12 月 18 日)

1. 「企業不祥事防止の歴史的対応と監査役のある方」 監査研究部会部会長 山脇徹氏

2. 「立てた問いに自ら応じるー博士論文の執筆を通じて得たものごと」

日本学術振興会特別研究員 (PD) 高田一樹 氏

\*第73回研究交流例会(平成23年3月12日)

1. 「IFRS(国際財務報告基準)と経営倫理」 日本橋学館大学名誉教授 古山英二 氏
2. 「戦略人事の倫理的側面:競争優位の人材マネジメントの条件」  
青山学院大学教授 須田敏子 氏

\*東北地方太平洋沖地震発生により中止(2011年7月2日に延期、開催された)

(5) 研究部会活動報告の件

各研究部会の登録メンバー、研究活動報告および今後の計画に関し別紙1にて報告。

部会長および登録メンバー数は平成23年3月末現在。

1. 理念・哲学研究部会  
部会長:宇佐神 正明 氏 登録メンバー数:21名
2. 企業行動研究部会  
部会長:小坂 勝昭 氏 登録メンバー数:61名
3. 監査研究部会  
部会長:山脇 徹 氏 登録メンバー数:14名
4. 実証調査研究部会  
部会長:中野 千秋 氏 登録メンバー数:11名
5. CSR研究部会  
部会長:水尾 順一 氏 登録メンバー数:56名
6. 経営倫理教育研究部会  
部会長:梅津 光弘 氏 登録メンバー数:24名

(6) 地方組織活動の件

関西および中部各地区研究部会の登録メンバー、研究活動報告および今後の計画に関し別紙1にて報告。

研究部会長、参加数および登録メンバー数は平成23年3月末現在。

(I) 関西地区研究部会

部会長:吉川 吉衛 氏 参加数:約25名

(II) 中部地区研究部会

部会長:堀田 友三郎 氏 登録メンバー数:25名

(7) 学会報発行の件

学会の活動状況伝達のため、学会報No.52第55号(平成22年7月25日発行)、No.53第56号(平成22年11月25日発行)、No.54第57号(平成23年2月25日発行)を夫々発行し会員各位に配布した。

(8) 学会誌発刊の件

上智大学で開催された第18回研究発表大会での発表を中心に、統一論題報告要旨3本、本論文22本および研究ノート2本からなる『日本経営倫理学会誌第18号』を平成23年3月に発刊した。

(9) 国際交流推進の件

平成21年度に引き続き米国SBE年次大会への参加や日台シンポジウムの開催等国際交流活動を一層促進した。

\* 詳細は別紙2にて報告。

(10) 第3回経営倫理シンポジウム開催の件

当学会主催、BERC および ACBEE 協賛の第3回経営倫理シンポジウムを平成23年1月25日(火)中央大学駿河台記念館(東京・お茶の水)において開催した。当日は「企業のミッションと経営倫理」をテーマに基調講演(慶應義塾大学小林規威氏・テーマ:「企業のミッションとビジネス教育を考える」、実践報告2名(ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)代表取締役社長デイビッド・W・パウエル氏、YKK(株)取締役副社長猿丸雅之氏)および当学会会長高橋浩夫氏をコーディネーターとしたパネルディスカッションが行なわれた。110余名の参加者があり、終日、熱心な講演と活発な議論が行なわれた。実行委員長は馬越恵美子(桜美林大学)氏。

(11) 年会費自動振替への移行の件

会員の年会費の支払忘れや事務局の年会費請求作業軽減のため自動振替制度を導入した。会員へ自動振替への切替を随時お願いしている。

(12) 会員名簿改定の件

会員名簿第8版の発行に向けて会員各位へ現住所と所属について確認をした。

(13) 東北地方太平洋沖大地震の被災者に対する義援金送付および募集の件

日本赤十字社を通して当学会より10万円の寄付をおこなった。また学会有志一同として寄付を行うため会員各位へ義援金を募った。

以上